

# 第29回

# うつのみやこども賞だより

## 平成24年度 第2回

市内小学5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

## 『転校生は忍びのつかい』

加部鈴子／作 平澤朋子／絵 (岩崎書店)

### ～読んだ本の感想より～



●かなしいところもあるけど、「やってみたいな」「こうなったらいいな」と思うところもあります。本がすきじゃない人でも、本がとてもおもしろいと思えます。

●宗助と浩太の友情に感動しました。最後に浩太が宗助のことを忘れてしまうのは、ちょっとさびしかったです。

●しのびになるための練習をしたり、まきものをさがしに行ったりしておもしろい。

●宗助と浩太は無事に巻き物を取り戻し、宗助は村に帰れるのか？とてもドキドキしました。浩太と宗助の友情にとっても感動しました。

●最初はなぞが多かった転校生、だんだんなぞがわかっていったのが、おもしろかった。

●修行を一回やってみたいと思いました。それに、にんむをなしとげるなんて、かっこいいと思いました。

### 『リンデ』ときありえ／作 (講談社)

●リロがリンデの世話をしているところがくわしく書いてあっておもしろかった。

●リンデは人間の話を理かいたり、リロが考えて行動する前に行動するのが、すごくふしぎに思った。

●リンデは日本語がわかるところがすごいと思ったし、かわいいと思った。

●リンデと共にくらすようになってから、リロは少しずつ気持ちの変化があって、その気持ちがよく伝わってきて良かった。

### 『かなと花ちゃん』 富安陽子／作 (アリス館)

●お縁日でふしぎなガラポン屋にあったり、おじいさんのゆうれいにあたり、おばあちゃんの夢の中にまよいこんだり、いろいろふしぎなことがあったのが、おもしろかった。

●心あたまるお話でした。かなちゃんの花ちゃんに対する愛情が印象に残りました。花ちゃんが捨てられていたのはかわいそうだったけど、捨てられるかなちゃんの優しさを感じました。

●野原においていかれてしまった花ちゃんが、かなにひろわれて、よかったなと思いました。おみくじで特別な玉をあてて、人形用のうば車を最後にもらえてよかったです。

### 『夢見の猫 風の犬宮』 牧野礼／作 (くもん出版)

●夜斗が大句、三津丸といっしょに虫頭をたおすシーンで、つい、こっちも夜斗たちを応援したくなったのと、三津丸がだんだん心をひらいていくところが印象的で心に残った。

●さいごの絵がたのしそうでよかった。

●三津丸が夜斗と大句に協力して虫頭をたおす所がすごく感動的でした、敵だった三津丸に助けってくれとたのんだとき、とまどいながらも協力してくれたからです。